

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クレオ

コード番号 9698 URL <http://www.creo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿南 祐治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長

(氏名) 土屋 淳一

TEL 03-5769-3640

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,425	1.8	91	△41.1	95	△39.6	32	△63.3
26年3月期第2四半期	5,326	1.2	155	△37.0	158	△36.3	87	△53.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 33百万円 (△62.3%) 26年3月期第2四半期 89百万円 (53.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.73	—
26年3月期第2四半期	10.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,926	4,593	65.8
26年3月期	6,782	4,602	67.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,556百万円 26年3月期 4,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	11,500	1.0	300	9.2	200	354.0
	～12,500	～9.8	～400	～45.6	～300	～580.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	9,237,319 株	26年3月期	9,237,319 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	580,581 株	26年3月期	579,583 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,657,415 株	26年3月期2Q	8,729,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年11月6日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される状況でありました。

当業界におきましては、商談数の増加など、受注環境に上向き傾向が見えてきましたが、顧客の情報化投資、設備投資等に対しては慎重な動きが続いている状況であります。

このような状況の中、当社グループは平成23年4月1日付の当社株式会社化および会社分割により、事業ごとの責任と権限の明確化、スピード経営・自主独立経営の徹底、各業種・業態に最適な経営体制の確立、変化に対応出来る柔軟な経営体制の確立を実現し、より強固な経営基盤の確立並びに成長促進を目指しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における、当社グループの状況は、前年同四半期に比べ、売上は順調に推移しましたが、利益に関しては利益減の事業が複数発生した事により、前年同四半期に比べ減少しております。前期の利益に大きな影響がありました、クレオマーケティング事業における不採算プロジェクトは、継続しているものの、損失縮小方向に推移しております。

以上の結果、売上高は、54億25百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は、91百万円（前年同四半期比41.1%減）、経常利益は、95百万円（前年同四半期比39.6%減）、四半期純利益は、32百万円（前年同四半期比63.3%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

- ・クレオマーケティング事業（主たる事業：基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供）

「人事給与」「会計」を中心としたトータルICTソリューションZ e e M製品を中心に展開をしましたが、大型商談の延伸などが影響し、売上・利益共に、前年同四半期より減少となりました。なお、前期の利益に大きな影響がありました、不採算プロジェクトは、継続しているものの、損失縮小方向に推移しております。

その結果、売上高は10億10百万円（前年同四半期比9.7%減）、営業損失52百万円（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

- ・クレオソリューション事業（主たる事業：システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発）

前期のよい流れを継続し、サービス品質の向上による顧客との信頼強化、商談時からのプロジェクト点検の徹底を推進した結果、売上は前年同四半期に比べ大幅に増加となりました。利益に関しても、前年同四半期より増加しております。

その結果、売上高は18億46百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益73百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

- ・筆まめ事業（主たる事業：はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の企画・開発・販売）

売上は、平成26年9月に発売した毛筆ソフト「筆まめVer. 25」の出荷が順調に進んだ結果、前年同四半期より増加となりました。利益に関しては、新規ビジネスに向けた、クローズドSNS『まめほ』、クラウドサービス『筆まめクラウド住所録』の開発投資により、前年同四半期より減少となりました。

その結果、売上高は6億32百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益66百万円（前年同四半期比17.1%減）となりました。

- ・クレオネットワークス事業（主たる事業：ICT基盤サービスプラットフォームとメディアプラットフォームの提供）

ビジネス基盤サービス「SmartStage」を中心としたサービス展開を推進しておりますが、前期は大型案件の発生影響により、前年同四半期に比べ売上、利益共に減少となりました。

その結果、売上高は2億57百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業損失39百万円（前年同四半期比は営業利益1百万円）となりました。

- ・クリエイトラボ事業（主たる事業：ヘルプデスクなどを中心としたサポート&サービス）

サービス品質の向上、既存顧客および社内のコミュニケーション強化を前期に引き続き継続した結果、前年同四半期に比べ売上は同水準、利益は経費削減により増加となりました。

その結果、売上高は16億78百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益67百万円（前年同四半期比69.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億49百万円の増加となりました。

これは主として売掛金、仕掛品の増加によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5百万円の減少となりました。

これは主としてソフトウェアの減少によるものです。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億53百万円の増加となりました。

これは主として返品調整引当金の増加によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、8百万円の減少となりました。

これは主として四半期純利益の計上、配当金の支払によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動で獲得した資金を、無形固定資産の取得、配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末と比較して1億78百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には29億70百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億8百万円(前年同四半期は64百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益85百万円、減価償却費2億49百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億42百万円(前年同四半期は3億78百万円の支出)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出1億70百万円、差入保証金の差入による支出73百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は44百万円(前年同四半期は43百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額42百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、平成26年5月14日付け「平成26年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのための様々な要因の変更により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

①クレオマーケティング事業については、新規顧客の獲得の遅れが生じた場合、あるいは通期の連結会計期間に予定しているライセンス販売等の検収が来期にずれ込む場合には、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

②クレオソリューション事業については、事業の性質上通期の連結会計期間末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が来期にずれ込む可能性があります。また、今後の開発状況によっては不採算プロジェクトが顕在化する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,148	2,970
受取手形及び売掛金	2,041	2,227
商品及び製品	21	24
仕掛品	174	351
その他	216	178
流動資産合計	5,603	5,752
固定資産		
有形固定資産	174	177
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	703	640
無形固定資産合計	706	641
投資その他の資産	298	354
固定資産合計	1,179	1,174
資産合計	6,782	6,926
負債の部		
流動負債		
買掛金	472	518
未払法人税等	91	54
賞与引当金	429	452
返品調整引当金	89	188
資産除去債務	9	8
その他	995	1,017
流動負債合計	2,087	2,240
固定負債		
未払役員退職慰労金	28	26
資産除去債務	46	46
その他	19	19
固定負債合計	93	92
負債合計	2,180	2,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	743	743
利益剰余金	843	832
自己株式	△178	△178
株主資本合計	4,558	4,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	9
その他の包括利益累計額合計	7	9
少数株主持分	36	36
純資産合計	4,602	4,593
負債純資産合計	6,782	6,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,326	5,425
売上原価	4,054	4,233
売上総利益	1,272	1,191
販売費及び一般管理費	1,116	1,100
営業利益	155	91
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	1
受取保険金	1	2
その他	1	1
営業外収益合計	3	4
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	158	95
特別損失		
投資有価証券評価損	1	—
和解金	—	10
その他	0	0
特別損失合計	1	10
税金等調整前四半期純利益	156	85
法人税、住民税及び事業税	68	49
法人税等調整額	△0	1
法人税等合計	67	51
少数株主損益調整前四半期純利益	89	33
少数株主利益	1	1
四半期純利益	87	32

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89	33
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
その他の包括利益合計	0	2
四半期包括利益	89	35
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88	34
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156	85
減価償却費	204	249
のれん償却額	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	60	23
返品調整引当金の増減額(△は減少)	91	99
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	0	0
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
和解金	—	10
売上債権の増減額(△は増加)	△310	△185
たな卸資産の増減額(△は増加)	△194	△180
仕入債務の増減額(△は減少)	60	46
未払金の増減額(△は減少)	△107	△108
その他	124	150
小計	89	190
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△25	△83
営業活動によるキャッシュ・フロー	64	108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23	△18
無形固定資産の取得による支出	△293	△170
投資有価証券の取得による支出	△64	△0
差入保証金の差入による支出	—	△73
差入保証金の回収による収入	7	20
その他	△4	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378	△242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△42	△42
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△357	△178
現金及び現金同等物の期首残高	2,923	3,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,566	2,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,119	1,567	611	313	1,714	5,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87	8	—	68	241	406
計	1,207	1,576	611	382	1,956	5,733
セグメント利益	1	70	80	1	39	193

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	193
セグメント間取引消去	△99
全社費用及び利益(注)	61
四半期連結損益計算書の営業利益	155

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,010	1,846	632	257	1,678	5,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	4	0	81	269	381
計	1,036	1,850	632	339	1,947	5,806
セグメント利益	△52	73	66	△39	67	115

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	115
セグメント間取引消去	△43
全社費用及び利益(注)	19
四半期連結損益計算書の営業利益	91

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料等であります。